# CALL ID TESTER

# AT-9616A

# 取扱説明書

### 株式会社 日 興 電 機 製 作 所

〒363-0002 埼玉県桶川市赤堀1-7

TEL:048-728-3131 (代)

FAX: 048-729-1075

# 目 次

1	. 概	説								3
2	構	成								3
3	. 本	体の	構造							3
4	. 特	徴								3
5	. /	ネル	の説	明						3
	5 <b>—</b> 1.	フロ	コント							
	5 — 2.	リフ	7							
6	. 使	用方	法							4
7	. 電	気的	仕様							5
8	. 設	定パ	ラメー	-タの仕様・筆	色囲	(精度)				5
	8 — 1 .	発信	言設定							
	8-2. 着信設定									
	8 — 3.	呼討	设定							
	8 — 4 .	ΙC	)(発	信者電話番号	)設定	定				
9	. 起	動画	面							8
1 0	. 初	期化								8
1 1	. 発	設定								8
1 2	. 呼	設定								9
1 3	. 着	設定							 1	0
1 4	. I	D (	発信	<b>者電話番号</b> )討	<b>设定</b> -				 1	1
1 5	. 表	示							 1	2
1 6	. 試	験							 1	2

#### 1. 概 説

本機は、NTTの発信電話番号表示サービス機能をもつ端末機器の動作試験を行うものです。 各種の設定値を変更することができます。

発信電話番号を100種類登録できます。

本機の操作・設定は、タッチパネル操作です。

#### 2. 構成

· 本 体:1台

• 電源コード:1本

取扱説明書:1部

#### 3. 本体の構造

- ・ 本体は、可搬形金属筐体に収容されています
- 概略寸法:370(W)×205(H)×345(D)mm
- 質 量:約8.7kg
- 端末機器との接続:モジュラージャックとバナナジャック

#### 4. 特 徴

- ・ 発信電話番号通知サービスの接続動作ができる
- 各種時間・データを設定・変更することができる
- エラーを発生させることもできる
- 発信電話番号を100種類(00~99)登録でき、ダイヤル2桁(00~99)で発生できる
- ・ 着信動作を一定間隔(設定時間)で繰り返し行うことができる
- ・ タッチパネルから各種設定等ができる

#### 5. パネルの説明

#### 5-1. フロント

(1) [POWER ON]

本体の電源スイッチです

#### (2) [RESET]

本体のリセットスイッチです。

(3) [LINE MONITOR/SETUP OPTIONS]

タッチパネル付き液晶表示機。 各種設定・データの変更・接続動作表示等

(4) METER [DC VOLT/RINGER VOLT/CH1 CURR/CH2 CURR/LINE LEVEL]

DC VOLT:回線電圧、RINGER VOLT:呼出信号い、ル、CH1 CURR:CH1 回線電流

CH2 CURR: CH2 回線電流、LINE LEVEL:回線交流信号 い゛ル

#### (5) [DC VOLT]

回線への供給電源電圧を調整します 発設定で48V/24Vを選択します。

### (6) [RINGER VOLT]

呼出信号の電圧を調整します

#### (7) [SP VOLUME]

モニタスピーカの音量を調整します

#### (8) [CH1 - CH2 L1/L2/G]

CH1 · CH2 も回線です

モジュラージャックと端子は、並列に接続されています

#### (9) [CONTRAST]

液晶表示機のコントラストを調整します

#### 5-2. リア

#### (1) [AC100V]

付属の電源コードで交流 100V コンセントに接続します

#### (2) [2A]

保護ヒューズです

#### (3) [GND]

本体のグランド端子です。

#### (4) [CH1 SIGNAL INPUT]

この端子に発振器を接続すると CH1 に信号を重畳できます

#### 6. 使用方法

(1) 電源コードを接続

「AC100V」コネクタに付属の電源コードを差し込み、交流 100V コンセントに接続

#### (2) 電源投入

「POWER ON」電源スイッチを上に倒す。これで本機は動作状態です

#### (3) 端末機器接続

「CH1 L1/L2」又は「CH2 L1/L2」に端末機器を接続。

1台で試験する場合は、CH1側に端末機器を接続

2台で交互試験する場合は、CH1側とCH2側に端末機器を接続

#### (4) 操作

1台 (CH1):「LINE MONITOR/SETUP OPTIONS」の下部表示部「試験」+「開始」を タッチすることで CH1 側へ発信します

2 台 (CH1 と CH2): 片側から 2 桁のダイヤル信号発信で反対の CH 側へ発信します

#### (5) 終了

電源スイッチを下に倒してください。

#### 7. 電気的仕様

- (1) 回線数:2回線(発信側/着信側/通話)
- (2) 供給回路:電圧 DC43V~53V(ボリューム調整)、DC22V~26V(ボリューム調整)
- (3) 呼出信号(IR・CAR・セントレックス)

周波数	16H z ∼80H z		
電圧	10∨~90∨(ボリューム調整)		

(4) ファクシミリ無鳴動呼出信号

周波数	1200H z ~1400H z
レベル	-10 d Bm~-40 d Bm

(5) モデム信号 (ITU-T V, 23)

スピード	1200BPS
周波数	1300H z ∕2100H z
レベル	-14 d Bm~-38 d Bm

(6) トーン信号 (DT · BT · RBT)

周波数	300 H z ∼500 H z
レベル	-10 d Bm~-40 d Bm

(7) 検出機能

直流ループ検出	15mA以上	
直流ループ断検出	10mA以下	
ダイヤル信号検出	DP/PB	

(8) 指示計(各部監視用)

定格値(最大値)	100m A ∕100 V
階級	2.5級

(9) 使用電源

 京	A C100V±10%, 50/60Hz
-------	----------------------

#### 8. 設定パラメータの仕様・範囲(精度)

#### 8-1. 発信設定

設定パラメータ	単位	仕様・範囲(精度)
ON HOOK DET	m s	オンフック検出時間設定・0~9999m s (±10m s)
OFF HOOK DET	m s	オフフック検出時間設定・0~9999ms(±10ms)

設定パラメータ	単位	仕様・範囲(精度)
LINE LOSS	d B	通話時ライン損失設定・0~31 d B (±1 d B)
CAR TRIP DET	m s	起動信号とリンガ信号のトリップ時間設定・0~9999m s (±10m s)
DT DELAY	m s	DT 発生までの時間・0~9999ms(±10ms)
DT LEVEL	-dBm	DTレベル・−10~−40 d B m (±1 d B m)(600Ω負荷)
DT FREQ	Ηz	DT 周波数・300~500Hz(±1%)
BT DELAY	m s	BT 発生までの時間・0~9999ms(±10ms)
BT LEVEL	-dBm	BTレベル・-10~-40dBm(±1dBm)(600Ω負荷)
BT FREQ	Ηz	BT 周波数・300~500Hz(±1%)
BT ON TIME	m s	BTオン時間・10~9999ms(±10ms)
BT OFF TIME	m s	BTオフ時間・10~9999ms(±10ms)
RBT DELAY	m s	RBT 発生までの時間・0~9999ms (±10ms)
RBT LEVEL	-dBm	RBTレベル・-10~-40dBm(±1dBm)(600Ω負荷)
RBT FREQ1	Ηz	RBT 周波数・300~500Hz(±1%) (FREQ1+FREQ2)の信
RBT FREQ2	Ηz	RBT 周波数・300~500 H z (±1%) 号を発生します
RBT ON TIME	m s	RBTか時間・10~9999ms(±10ms)
RBT OFF TIME	m s	RBTオフ時間・10~9999ms(±10ms)
DIAL ERROR	m s	ダイヤル信号がこないとき BT 発生までの時間・1000~59999ms
TEST CYCLE	s	繰返し試験の時の周期時間・1~599 s (±10m s)
START TEST NUM	_	繰返し試験の時の開始番号 (00~99)
END TEST NUM — 繰返し試験の時の		繰返し試験の時の終了番号 (00~99)
LINE VOLTAGE V 回線供給電圧・48∨と24∨の切替え		回線供給電圧・48∨と24∨の切替え
LINE CURRENT mA		回線供給電流・15~99mA(±5mA)

# 8-2. 着信設定

設定パラメータ	単位	仕様・範囲(精度)
ID LEV	-dBm	発 ID 信号レベル・-14~-38 d Bm(±1 d Bm)(600Ω負荷)
MARK 時間	ms/ms	発 ID 前/後のマーク信号時間・5~1999ms(±2ms)
IDLE BIT	_	アイドル信号ビット数 (0~6)
IR/CAR FREQ	Ηz	呼び出し信号周波数・16~80Hz (±1%)
IR ON	m s	呼び出し信号オン時間・100~9999ms(±10ms)
IR OFF	m s	呼び出し信号オフ時間・100~9999ms(±10ms)
IR/CAR VOLT	V	呼び出し信号電圧・10~90∨ (±2%+1∨) OPEN 時
CAR ON	m s	起動信号オン時間・100~9999ms(±10ms)
CAR OFF	m s	起動信号オフ時間・100~9999ms(±10ms)
反転-起動信号	m s	極性反転から起動信号発生までの時間・0~9999m s (±10m s)
1次応答-MARK	m s	1 次応答からマーク信号発生までの時間・0~9999m s(±10m s)
受信完了-呼出	m s	受信完了から呼出までの時間・0~9999ms(±10ms)

設定パラメータ	単位	仕様・範囲(精度)
2 次応答-復極	m s	2 次応答から復極までの時間・0~9999m s (±10m s)
復極−通信	m s	復極から通信開始までの時間・0~9999ms(±10ms)
1 次応答待	m s	1 次応答待ち時間・0~9999ms(±10ms)
受信完了待	m s	受信完了待ち時間・0~9999ms(±10ms)
ID-2 次応答待	m s	発 ID から 2 次応答待ち時間・0~9999m s (±10m s)
受信完了-2次応答待	m s	受信完了から 2 次応答待ち時間・0~9999m s (±10m s)
反転瞬断	m s	極性反転時の瞬断時間・0~9999m s (±10m s)
起動信号瞬断	m s	起動信号時の瞬断時間・0~9999m s (±10m s)
ID 切換瞬断	m s	ID 切換時の瞬断時間・0~9999ms(±10ms)
呼出信号瞬断	m s	呼出信号開始時の瞬断時間・0~9999ms(±10ms)
呼出信号断瞬断	m s	呼出信号断時の瞬断時間・0~9999m s (±10m s)
復極瞬断	m s	復極時の瞬断時間・0~9999ms(±10ms)
反転	_	着信側回線極性反転の有り/無し(1:有り/0:無し)
呼出時間	m s	呼出時応答待ち最大時間・0~59999m s (±10m s)
強制切断	m s	極性反転から強制切断時間・0~59999m s (±10m s)

#### 8-3. 呼設定

設定パラメータ	単位	仕様・範囲(精度)
IR FREQ	Ηz	リンガ信号周波数・16~80Hz(±1%)
IR LEV	V	リンガ電圧・10~90∨(±2%+1∨)OPEN
0N-0FF 時間	m s	鳴動-停止・10~9999ms(±10ms)
セントレックス FREQ	Ηz	セントレックス信号周波数・16~80Hz (±1%)
セントレックス LEV	V	tントレックス信号電圧・10~90∨(±2%+1∨)0PEN
セントレックス時間	m s	ON1-0FF1-0N2-0FF2 時間・(100~9999ms±10ms)
FAX LEV	d Bm	無鳴動着信信号レベル・-10~-40 d B m (±1 d B m) 0PEN
FAX FREQ	Ηz	無鳴動着信信号周波数· 1200~1400Hz (±1%)

#### 8-4. ID設定

DLE (10H) · SOH (01H) · HED (07H) · STX (02) · SER (サービス種別 40H) · LEN (長さ)

PAR (パラメータ種別)・LEN (長さ)・【/】(情報内容 "/"は終了記号)・DLE (10H)

ETX (03H) • SUM (CRC7 - 4) • SUM (CRC7 - 4)

ST\_ERP (スタートビットエラー発生位置 000 を設定するとエラーなし)

P\_ERP (パリティビットエラー発生位置 000 を設定するとエラーなし)

SP\_ERP(ストップビットエラー発生位置 000 を設定するとエラーなし)

#### 9. 起動画面

以下のキーを押して各項目を行います。

+-	項目
初期化	内部記憶データを初期化します
発設定	発呼情報その他の設定を行います
呼設定	呼び出し信号の設定を行います
着設定	着信制御条件の設定を行います
I D設定	発IDデータの設定を行います
表示	各種設定内容を表示します
試験	発ID試験を行います

## 10. 初期化

#### (1) キー操作

以下のキーを押してデータを初期化します。

+-	項目
戻る	メニュー画面に戻ります
発信設	発設定・呼設定の内容を初期化します
着信 (番号)	現在の着設定の内容を初期化します
着信全	全ての着設定の内容を初期化します

#### (2)確認

各項目を選択すると【初期化しますか?】の確認を表示しますので、 初期化するときは【はい】を押してください。 【いいえ】を押すと初期化しないで戻ります。

#### 11. 発設定

#### (1) キー操作

+-	項目
戻る	メニュー画面に戻ります
10 k	1000の位を増減します
1 k	1000の位を増減します
100	100の位を増減します
1 0	10の位を増減します
1	1の位を増減します
+/-	+, -を指定します。+は設定値を増加 -は設定値を減少
<b>←</b>	設定項目を左に移動します
$\rightarrow$	設定項目を右に移動します

# (2) 設定項目・範囲

項目名	単位	最小値	最大値	初期値
ON HOOK DET	m s	0	9999	500
OFF HOOK DET	m s	0	9999	50
LINE LOSS	d B	0	31	10
CAR TRIP DET	m s	0	9999	10
DT DELAY	m s	0	9999	100
DT LEVEL	-dBm	10	40	20
DT FREQ	Ηz	300	5999	400
BT DELAY	m s	0	9999	1000
BT LEVEL	-dBm	10	40	15
BT FREQ	Hz	300	5999	400
BT ON TIME	m s	10	9999	500
BT OFF TIME	m s	10	9999	500
RBT DELAY	m s	0	9999	1000
RBT LEVEL	-dBm	10	40	15
RBT FREQ1	Hz	300	5999	392
RBT FREQ2	Ηz	300	5999	408
RBT ON TIME	m s	10	9999	1000
RBT OFF TIME	m s	10	9999	2000
DIAL ERROR	m s	1000	59999	15000
TEST CYCLE	s	1	599	180
START TEST NUM	_	0	99	0
END TEST NUM		0	99	99
LINE VOLTAGE	V	24	48	48
LINE CURRENT	m A	15	99	50

## 12. 呼設定

# (1) キー操作

+-	項目
戻る	メニュー画面に戻ります
1 k	1000の位を増減します
100	100の位を増減します
1 0	10の位を増減します
1	1の位を増減します
+/-	+, -を指定します。+は設定値を増加 -は設定値を減少
<b>←</b>	設定項目を左に移動します
$\rightarrow$	設定項目を右に移動します

#### (2) 設定項目・範囲

項目名	3	単位	最小値	最大値	初期値
IR	FREQ	Ηz	10	99	16
	LEV	V	10	99	70
	ON	m s	10	9999	1000
	0FF	m s	0	9999	2000
セントレ	FREQ	Ηz	10	99	16
ックス	LEV	V	10	99	70
	ON	m s	10	9999	250
	0FF	m s	10	9999	250
	ON	m s	10	9999	250
	0FF	m s	10	9999	2250
FAX	FREQ	Ηz	1200	1400	1300
	LEV	- d Bm	10	40	30

# 13. 着設定

# (1) キー操作

以下のキーを押してデータを設定します。

+-	項目
戻る	メニュー画面に戻ります
10 k	1000の位を増減します
1 k	1000の位を増減します
100	100の位を増減します
1 0	10の位を増減します
1	1の位を増減します
+/-	+, -を指定します。+は設定値を増加 -は設定値を減少
<b>←</b>	設定項目を左に移動します
<b>→</b>	設定項目を右に移動します

# (2) 設定項目・範囲

項目名	単位	最小値	最大値	初期値
ID LEV	- d Bm	14	38	15
MARK 時間	m s	5	9999	1000
IDLE BIT	_	0	6	4
IR/CAR FREQ	Ηz	10	99	16
IR/CAR VOLT	V	10	99	70
IR: ON	m s	100	9999	1000
IR: OFF	m s	100	9999	2000
CAR: ON	m s	100	9999	500

項目名	単位	最小値	最大値	初期値
CAR: OFF	m s	100	9999	500
反転一起動信号	m s	0	9999	100
1次応答-MARK	m s	0	9999	100
受信完了一呼出	m s	0	9999	300
2次応答-復極	m s	0	9999	100
復極一通信	m s	0	9999	100
1 次応答待	m s	0	9999	6000
受信完了待	m s	0	9999	7000
ID-2次応答待	m s	0	9999	600
受信完了-2 次応答待	m s	0	9999	300
反転瞬断	m s	0	9999	0
ID 切換瞬断	m s	0	9999	0
呼出信号瞬断	m s	0	9999	0
呼出信号断瞬断	m s	0	9999	0
復極瞬断	m s	0	9999	0
反転	_	0	1	1
呼出時間	m s	0	59999	10000
強制切断	m s	0	59999	50000

# 14. ID設定

# (1) キー操作

+-	項目
戻る	メニュー画面に戻ります
正規化	設定された情報内容で情報内容長・チャックサムなどを計算し、エラーのな
	い状態にします。 エラーを発生させる時は正規化後に設定内容を変
	更します。情報内容の終了記号は「/」です。
«	カーソルを項目内で左に移動します
<b>»</b>	カーソルを項目内で右に移動します
_	カーソル位置の設定値を減少します
+	カーソル位置の設定値を増加します
<b>←</b>	設定項目を左に移動します
$\rightarrow$	設定項目を右に移動します

## 15. 表示

# (1) キー操作

以下のキーを押してデータを設定します。

+-	項目
戻る	メニュー画面に戻ります
設定 I D	着設定を表示します。このキーを押すと設定ID表示に変わります
着設定	設定IDを表示します。このキーを押すと着設定表示に変わります
送出 I D	実際に送出するデータ列を16進数表示します。
	SDTPS:START BIT+DATA 7BIT+PARITY BIT+STOP BITの順に表示し
	ます。
	※この表示には時間がかかりますので注意してください。
_	1減少した設定番号の内容を表示します
+	1 増加した設定番号の内容を表示します

#### 16. 試験

### (1) キー操作

+-		項目
戻る		メニュー画面に戻ります
着信		「着信」「繰返し」「FAX」「IR」「セントレクス」に切り換わります
1	着信	指定した番号の発 ID 試験を1回行います
		「開始」を押すと CH1 に起動信号を送出します
		「停止」を押すと中止します
		また、2桁のダイヤリングにより任意の番号の発 ID 試験を行う
		そのときは、CH1 からのダイヤリングもできます
		指定番号は左上に表示します
2	繰返し	「開始」を押すと設定した開始番号から終了番号までを設定した
		周期で繰返し発 ID 試験を行います
3	FAX	「開始」を押すとファクシミリ信号を送出します
		「停止」を押すと送出を止めます
4	ΙR	「開始」を押すと呼び出し信号を送出します
		「停止」を押すと送出を止めます
5	セントレクス	「開始」を押すとセントレクス呼び出し信号を送出します
		「停止」を押すと送出を止めます

+-	項目
+	発ID設定番号を1増加します
_	発ID設定番号を1減少します
開始	試験を開始します
	試験を開始すると【停止】と表示します
	【停止】を押すと試験を停止し、【開始】表示に戻ります

#### (2) 試験中の状態表示

CH1 ・ CH2 の交換動作表示は以下のような表示をします 「呼出信号」「起動信号」「発 ID」「オンフック」「オフフック」「BT 送出」「RBT 送出」「通信中」

※お問合せ先:株式会社日興電機製作所 TEL048-728-3131 受付時間 9時~12時/13時~17時 月曜日~金曜日(祝日・年末年始・夏季休暇などの弊社の休日は休みます)

株式会社 日興電機製作所